

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表: 令和5年2月10日

事業所名: えすぺらんさ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等のスペースとの関係で適切であるか	○		広々とした活動スペースとなっている	
	② 職員の配置数は適切であるか	○		基準以上の職員を配置している	
	③ 生活空間は、本人に分かりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じた事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		安全な空間となっている 手洗い場が高めであるが、その子に応じて台を使用したり、抱っこして工夫している。	
	④ 生活空間は清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。子どもたちの活動に合わせた空間となっているか	○			
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参画しているか	○			
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者の意向等を把握し業務改善につなげているか	○			
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善に繋げているか		○		実施していない 外部からも意見を頂けるような環境を整えていく
	⑨ 職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		定期的に研修が行われている	
関係機関や保護者との連携	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、児童発達支援計画を作成しているか	○			
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○	使用していない	必要に応じて統一したアセスメントツールを検討していく
	⑫ 児童発達支援計画には児童発達支援ガイドライン「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、そのうえで具体的な支援内容が設定されているか	○			
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		個別の計画をその都度確認し支援している。	
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		個人で立案するが、スタッフの意見や助言を取り入れている	
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		毎週違う活動が行われている。 意識して活動を組み立てている。	
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	○			
⑰ 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		朝礼にて共有している。申し送りノートやホワイトボードでも役割を確認できるようにしている		

関係機関や保護者との連携	⑱	支援終了後には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	○		職員同士で、利用児の情報共有できている。反省点だけでなく、良かった点も共有するようにしている		
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証、改善に繋げているか	○		その都度、活動内容や利用児の様子などを記録している。細やかな部分も記録し、見直せるようにしている。		
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○				
	㉑	児童発達支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○				
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○				
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○				
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		担当者会議で情報の共有を図っている		
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		担当者会議やサポートミーティングなど実施している。		
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○				
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○		現在、コロナ禍でなかなか難しい	感染しやすい、重度化しやすい利用者の特性に配慮して交流を検討していく	
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○				
	㉚	日ごろから子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達状況や課題について共通理解をもっているか	○		送迎時にコミュニケーションを図っている。情報共有できるよう心掛けている		
	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っているか	○			必要に応じて導入を検討していく	
	㉜	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		利用契約時に説明している		
	保護者への説明責任	㉝	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援計画の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			
		㉞	定期的に保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		相談しやすい雰囲気を作っていく。日頃からコミュニケーションを図っていく。	
		㉟	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			
㊱		子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもの保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				

仕等	⑳	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		
	㉑	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	○		
	㉒	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		
	㉓	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○	コロナ禍で行えていない	感染しやすい、重度化しやすい利用者の特性に配慮して交流を検討していく
非常時の対応	㉔	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対策マニュアル等を策定し、職員や保護者に対して周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		
	㉕	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○	必要な災害訓練を定期的に行っている。	
	㉖	事前に服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○		